

教員名	富士原 紀絵 (FUJIWARA Kie)
所 属	文教育学部人間社会科学科教育科学講座
学 位	修士 (1995 お茶の水女子大学)
職 名	助教授
URL/E-mail	fuji-k@cc.ocha.ac.jp

## ◆研究キーワード

教育課程 / カリキュラム / 教育実践史 / 教育方法 / 新教育

## ◆主要業績

総数 (4) 件

- ・「1940年代の明石女子師範学校附属小学校・国民学校における総合学習 (3)」お茶の水女子大学『人間発達研究』第28号、2006年3月、pp.35-48
- ・「4. 子どもの学びと育ちに寄り添う創造活動 (4) 創造活動をふり返る」他 平成15・16年度文部科学省「総合的な学習の時間の充実に係る教師用参考教材の開発等に関する委嘱事業」報告書「総合的な学習の時間の年間計画作成等に関する実践研究実施報告書」(代表酒井朗)、pp.91-98、171-175
- ・「第2部第2章第2節 お茶の水女子大学附属小学校の『市民』の実践に関する所感」お茶の水女子大学21世紀COEプログラム 誕生から死までの人間発達科学 プロジェクトⅢ 思想史サブグループ報告書『子どもから成人への移行概念としてのシティズンシップの変容とその思想史的文脈』(代表小玉重夫)、pp.60-65

## ◆研究内容

戦後初期の小学校のカリキュラム改革に関する研究。1950年代に展開されたコア・カリキュラム運動の先駆けとなる、終戦直後の1945～49年の間に行われた実践研究の特徴について、戦前からの影響の有無も含めて検討を行った。従来のコア・カリキュラムに関する研究は1950年代の実践を対象となされてきたが、本研究は戦前・戦中・戦後との時間的連続性の中で検討することに特徴がある。具体的には、戦前、1930年代にカリキュラム改造に取り組んだことで知られ、さらには1950年代のコア・カリキュラム運動を代表する実践校として知られる明石女子師範学校附属小学校の1940年代の実践研究について、制度としての教育課程との関係性のみならず、教員構成や学校経営、研究指導体制作りといった様々な要因も含めて、同校の戦後のカリキュラム改革を支えた条件の解明を行った。なお、本研究は現在の「総合的な学習の時間」にも示唆を得ることができる。

## ◆教育内容

学部) 教育課程や教育方法、教職関係科目の授業を担当した。教育課程概論では現代の教育課程や教育方法につながる問題点を意識して、日本の戦前から現在にいたる教育課程の特徴について講義を行った。授業研究演習では現在の日本を代表する教育方法について論じた文献をゼミ形式で購読した。この他、小学校教材研究・国語、社会科教育論、道德教育の研究といった教職関係の授業を担当し(オムニバス形式も含む)、教育実習の事前・事後指導を担当した。また、小学校や少年院といった実際の教育現場と学生との接触を図るための授業運営や、NPO インターンシップのコーディネートを担当した。

(大学院) 修士課程の「教育実践学」演習・特論では教育評価をテーマにした。前期は日本の教育評価の歴史に関する研究論文を購読し、後期は最近の海外の教育評価に関する文献購読と、現在の日本の学校に導入されている教育評価について検討を行った。カリキュラム研究演習ではアメリカの最近のカリキュラム改革についての文献検討を行った。

## ◆Research Pursuits

---

Research on elementary school curriculum reform during the early post-war period. The characteristics of the studies regarding the educational practices during the early post-war period, between 1945 and 1949, preceding the Core Curriculum Movement in the 1950s, were examined, including the influence of the pre-war era. Traditionally, studies concerning the Core Curriculum movement had focused on the implementation of the educational practices during the 1950s; however, my research is characterized by an approach based on the temporal continuity from pre-war, through war-time, to post-war periods. Taking as an example the elementary school attached to Akashi Women's Normal School, known for its prewar efforts in curriculum reform in the 1930s and its leading role in the Core Curriculum movement in the 1950s, its educational practices were examined from the view point of conditions which supported its postwar curriculum reform including elements such as the composition of teachers, the management of the school and the process of implementation and teacher training as well as their correlation to the curriculum as a system. The study should give a useful indication for the present 'Period for Integrated Study'.

## ◆Educational Pursuits

---

(For Undergraduate) I taught classes regarding educational curriculum, educational methodology, teacher training and others. In the 'Introduction to educational curriculum' class, I ran a series of lectures regarding the characteristics of the educational curriculum in Japan from the pre-war era up to the present, highlighting the issues which lead to the present educational curriculum and its methods. In the practical teaching exercise class, we read materials regarding typical contemporary Japanese educational methodologies. In addition, I taught classes aimed at teacher training including the teaching material studies for elementary school, educational theories on Japanese language, social studies and moral education (including omnibus format), coordinating and supervising the students on-site teacher training throughout.

(For Postgraduates) In the Theories of educational practices seminar class in postgraduate courses, I took up the theme of educational assessments. In the first term, we read research papers on the history of educational assessment in Japan, while in the second term, we studied materials regarding the latest educational assessment in other countries, as well as educational assessment methods introduced into contemporary Japanese schools. In the curriculum studies seminar class, materials on recent curriculum reform in the USA were read and examined.

## ◆共同研究例

---

- ・学校放送番組を活用したインターネット交流サイト運営（日本放送協会）
- ・小学校～高等学校の授業・カリキュラム研究（例：富山大附属小学校）
- ・N I E実践の共同開発研究（例：秋田和洋女子高校）

## ◆将来の研究計画・研究の展望

---

1. 日本の戦前・戦後の小学校のカリキュラム改革の歴史的研究の対象を、戦後の中学校に展開させる。この研究は、特に今日、中等教育で問題となっている「総合的な学習の時間」の現場での運営に寄与するものと期待できる。
2. 教師の教育評価観に関する研究を進める。教育評価、教育測定、テストといった方法論は教師の中でどのように認識され、実践にいかされているのかについて、歴史的な研究とともに、現在の教師の意識調査などを行い、授業に反省的に還元される評価方法について検討する。

## ◆共同研究可能テーマ・今後実用化したいテーマ

---

- ・小学校～高等学校のカリキュラム開発（特に総合的な学習の時間）研究
- ・小学校～高等学校の授業研究 ・多様なメディアを活用した授業実践研究

## ◆受験生等へのメッセージ

---

将来、教職を志望する学生を育てること、あるいは現職の教師の方の実践研究への手助けをすることが自分がこの職に就いた理由です。学校に対する社会の期待は年々大きくなる中で、教師や子どもをめぐる様々な困難が取りざたされています。しかし、教師という仕事は目に見えない子どもの可能性、そしてその子どもらによって創られる未来を生み出す手助けをするという意味において、社会の行く末を左右する重要な仕事であるのみならず、本来、未知のものを扱う創造性豊かな楽しい仕事であると考えます。そうした仕事に進んで携わろうとする、そして現に携わっている人たちの期待や夢、そして直面している困難と一緒に考え学んで行くことを基本的なスタンスとしています。これまで小・中・高等学校の教師と子どもたちと様々な問題と一緒に取り組む中で多くのことを学んできました。研究対象は歴史的な実践ですが、歴史の中に登場する教師からも多くのものを学んでいます。実践に即していれば時空を問いません、学校や教師について一緒に考えてゆきましょう。